

◎景気ウォッチャー調査[2021年11月]

2021年11月の中国地域調査結果の概況

■景気の現状に対する評価

現在の景気を3か月前と比較するとその評価は次のとおりであった。

景気の現状判断D I (合計)は、前月を4.4ポイント上回る58.4となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「悪くなっている」の回答の割合が減少し、「新型コロナウイルスの新規感染者数の減少や県の観光誘致促進事業の補助金もあり、宿泊の予約が増加している。また、宴会利用も例年並みに回復してきている。」(観光型ホテル)、「夜の動きは良くないが、県外からのビジネス客や旅行者がかなり増加しており、売上も良くなっている。」(タクシー運転手)等の理由から、「良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を3.5ポイント上回る59.2となった。

企業動向関連は、「やや悪くなっている」の回答の割合が減少し、「自動車メーカーの景気がかなり回復してきたことに伴い、忙しくなっている。」(輸送用機械器具製造業)、「季節商材の動きが徐々に良くなっている。また、ギフト商戦も出足が好調で、予約が増加している。」(食料品製造業)等の理由から、「良くなっている」、「やや良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を9.0ポイント上回る55.3となった。

雇用関連は、「やや悪くなっている」の回答の割合が減少し、「良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を2.0ポイント上回る59.4となった。

	11月	10月	前月差
合計	58.4	54.0	4.4
家計動向関連	59.2	55.7	3.5
企業動向関連	55.3	46.3	9.0
雇用関連 (参考値)	59.4	57.4	2.0

■景気の先行きに対する評価

現在より3か月先の景気の先行きに対する評価は次のとおりであった。

景気の先行き判断D I (合計)は、前月を2.2ポイント下回る55.9となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「やや良くなる」の回答の割合が減少し、「ガソリン価格の高騰など各種商品の値上げの報道を受け、客が購買に慎重になっており、心理的な影響などから、景気はなかなか良くならない。」(百貨店)、「年末のボーナスの支給が前年と比べ、厳しくなりそうなので、景気はやや悪くなる。」(スーパー)等の理由から、「やや悪くなる」の回答の割合が増加したため、前月を2.9ポイント下回る56.8となった。

企業動向関連は、「やや良くなる」の回答の割合が減少し、「半導体関連品だけでなく、汎用部品等も入荷しにくくなっているため、今後、景気は悪くなる。」(一般機械器具製造業)等の理由から、「悪くなる」の回答の割合が増加したため、前月を1.5ポイント下回る49.2となった。

雇用関連は、「良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を0.7ポイント上回る62.5となった。

	11月	10月	前月差
合計	55.9	58.1	-2.2
家計動向関連	56.8	59.7	-2.9
企業動向関連	49.2	50.7	-1.5
雇用関連 (参考値)	62.5	61.8	0.7